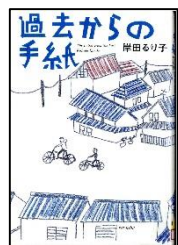




図書館でボランティア活動をしてくれた中高生のみなさんに、オススメの一冊を紹介してもらいました！

(編集にあたり、趣旨は変えずに一部修正しています。)



『過去からの手紙』岸田 るり子／作 理論社

高校生の男女がお互いの視点から、ある殺人事件について謎を解いていく。男女のそれぞれの見方、考え方などが細かく書かれており、感情が入りやすい作品です。

(雯太さん)



『かわいそうだね?』綿矢 りさ／著 文藝春秋

何かあったわけでもなく、お互いに悪いところがあるわけでもないのに、なぜか人間関係がうまくいかなくてモヤモヤする時、ありませんか？この本はそんな時に寄り添ってくれます。「明日も頑張ろう」と思える一冊です。

(K.Mさん)

●ご感想、本の紹介など、中央図書館のヤングアダルトコーナーに設置されているポスト、または下記のメールアドレスにお寄せください。メール投稿の際は件名にYOUNG=JIN、本文に年齢・ペンネームを明記してください。

●本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。
編集・発行 長岡市立中央図書館 (0258-32-0658)

図書館HP <http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>
図書館メールアドレス lib@city.nagaoka.niigata.jp

スマホ
サイト→



←携帯
サイト

WE'RE
YOUNG-JIN

長岡市立中央図書館ヤングアダルト News

Vol.52 2018.7

部活！

みなさんはどんな部活に入っていますか？運動部に入っている人も、文化部に入っている人も、部活に打ち込む姿はまぶしく輝いています。今回はそんな「部活」をテーマにしたキラキラの本を紹介します。



『響け! ユーフォニアム』

北宇治高校吹奏楽部へようこそ』[1]

武田 綾乃／著 宝島社

中学時代、厳しい吹奏楽部で練習を積んできた久美子。かつては吹奏楽の強豪校だったという北宇治高校に入学したが、そのユルさに戸惑いを隠せなかった…。シリーズを通して少女たちの心の成長を描く青春群像小説。スピノフの『立華高校マーチングバンドへようこそ』もあわせてぜひ。



『園芸少年』 魚住 直子／著 講談社

高校では帰宅部で気楽にいかうと思っていたのに、なりゆきで園芸部に入ることになった主人公と、元不良と、引きこもりの男子の物語。興味がなかった草花なのに、その魅力にどんどんハマってゆく3人。思春期まっさかりの不器用な少年たちの心の成長が、爽やかに温かく描かれています。



『ぼくたちのアリウープ』
五十嵐 貴久／著 PHP 研究所

バスケット部に入部するために私立国分学園高校に入学したジュンペーだったが、バスケット部は1年間の対外試合禁止に。しかも、2年生は1年生の入部を認めないという。1年生が2年生に試合で勝ったら入部を認めてもらうという約束のために、キツイ練習をこなし続け、試合に臨むが…。バスケットに打ち込む姿が眩しい一冊です。



『うたうとは小さいのちひろいあげ』
村上 しいこ／著 講談社

強引な先輩に誘われて、高1の桃子が入部したのは、短歌をつくる、うた部。高校三年間、友達は作らない、と誓う桃子は、うたで「自分」を表現する先輩たちとの関わりのなかで、かつて裏切ってしまった親友への想いを、うたへと昇華させます。下の句を得たとき、タイトルのうたが美しく響き、胸に迫ります。



『サッカーの神さまをさがして』
はらだ みずき／著 KADOKAWA

サッカーライターとなった春彦は、高校時代を振り返り、ブログを書き起こした。当時、彼の入学した新設校にはサッカー部がなく、仲間をさがして同好会の立ち上げから始める。サッカー漬けの日々、仲間との衝突、友情、別れ…。サッカーの知識がなくても引き込まれてゆく、心揺さぶられる物語です。



『コロヨシ!!』 三崎 亜記／著 KADOKAWA

高2男子藤代樹が所属するのは「掃除部」。といっても、単にお掃除する部活ではない。公式戦があり、道具である長物を手に舞う…れっきとした競技であり、「旧国技」であり、国家保安局の謎の監視つき活動制限スポーツだ。謎の少女、祖父の失踪、両親の反対…。とにかく謎が多すぎる「掃除」とは、いったい？！



『部活弁当』 山口 美佐／著 地球丸

運動部でがんばっている中高生が、最高のパフォーマンスを発揮出来るように考えられたお弁当。例えばスープの具ひとつとっても、瞬発系運動部にはアミノ酸のバランスがいいというずらの卵を勧め、持久系運動部には、糖質の多いマカロニや白玉が最適など、目からうろこのアイディアが盛りだくさんです！